



# ひかりいっぱい新聞

**私達が昨年3,200件の手術を支えました**  
**治療最先端 眼内への注射で拡大する網膜の治療**  
ミクロネシア特命全権大使 ジョン・フリツツ氏ご来訪  
4月から入院・手術の予約方法変更と異動  
新病棟師長のご挨拶



## 私達が昨年3,200件の 手術を支えました

### ～手術中は緊張感で大変ですが やり甲斐が～

現在、手術室には看護師10名、看護助手2名のスタッフが勤務しております。昨年度の当院の手術実績は3,200件を超えていました。私達手術室看護スタッフは患者様一人一人に安心して手術を受

けていただける様に、医師を支え手術が安全にかつ正確に行えるように日々懸命に努力してきました。

手術室の業務は特殊性があります。第1介助は医師が手術を円滑に行えるように、術者と同じように顕微鏡を見ながらアシストしタイミング良く手術器具を渡します。第2介助は手術機械のセッティング・操作、手術の進行状況を予測し手術器具等の準備を行います。外回り看護師は患者様の手を握り、不安を和らげながら、モニターで全身状態のチェックするなどに努めます。そして、大切な仕事のひとつに手術に使用する器具の洗浄、滅菌があります。眼科で使用する器具は特に小さく繊細で数も多いので、手術を行う際に不備のない様に徹底した管理を行なっています。それぞれが大変な仕事ですが、手術が行われるにはどれも必要なものです。特に手術中は神経を集中し緊張感もあり大変ですが同時に、やり甲斐も感じています。

また当院では、手術の前に手術室スタッフが直



左から第2介助、第1介助、術者、外回り看護師

接病室に訪問して患者様とお話をし、直接医師に聞きにくい事や不安に思っている事などをお聞きしています。皆様が安心して前向きに手術に臨めるように医師との架け橋になり、当院で手術を受けて良かったと思って頂けるような手術室を目指していこうと思っています。

手術室主任 城 典子

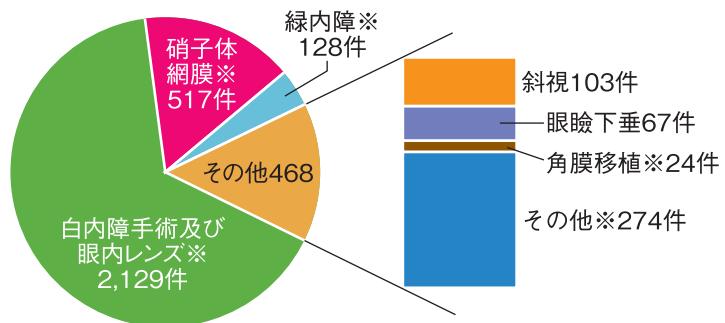
## 平成26年1月～12月の手術実績

昨年1年間の観血的手術は3,242件(併施手術含む)、各レーザー手術総件数は2,133件、併せて5,300件でした。加齢黄斑変性や網膜静脈閉塞等に対する抗VEGF抗体療法も1,000件と、常に全国規模での高い件数を保ち、手術数は年々増加しております。

当院の眼科医師は全員、十分な経験と知識を有する、日本眼科学会で認定された眼科専門医ですがその上で、網膜・白内障・角膜・緑内障など各疾患を専門とする者が責任を持って、高度な

手術を行っております。

### 平成26年観血的手術3,242件 (※併施手術含む)



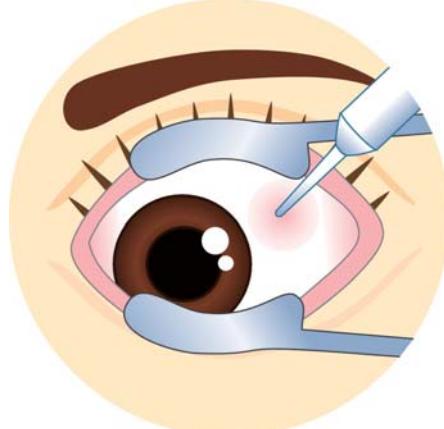
## 治療最先端 眼内への注射で拡大する網膜の治療

加齢黄斑変性症の主な治療として、抗VEGF療法という治療法があります。

VEGFというのは血管内皮増殖因子といい、加齢黄斑変性の症状を悪化させる物質です。そのVEGFを抑えるため眼に抗VEGF薬を注射します。

この治療法は唯一の視力改善効果が認められたもので、当院では保険適応になった2009年から行ってきました。その効果は著しいものがあり一昨年からは病気の本態が似ている網膜静脈閉塞や近視性脈絡膜新生血管症に、昨年春からは糖尿病性網膜症といった眼底出血を引き起こす病気にも適応が拡大され用いられるようになります。

した。抗VEGF治療は基本的に進行予防の治療法なので適切な時期に治療を開始することが大事です。



# ミクロネシア特命全権大使 ジョン・フリッツ氏ご来訪

眼科医長 横山 光伸



チューク島民の眼科健診

私は2002年から10年間、かつては日本の統治下にあった太平洋に浮かぶ島国、ミクロネシア共和国へ医療ボランティアに行っていました。

ボランティアでは島民の眼科健診・白内障手術を行い、2011年6月にはボランティア活動の様子や、チューク州の自然や歴史を多くの皆様に知って頂くため、写真展を広島市まちづくり市民交流プラザで開催致しました。10年目の節目である2012年には首都のあるポンペイ州におもむき、モリ大統領にもお会いすることができました。

あれから3年が過ぎ、今はアフリカにボランティ



左からジョン・フリッツ大使、大使夫人、木村亘院長、横山

アの地を移して活動しています。ボランティア活動の内容はかなり異なっており、時々あの非常に不便ではありましたが、なにかにつけ住民に接する時間が長く、暖かさを感じたミクロネシアでの活動を懐かしく感じていたこの頃、ある一報が入りました。

『ミクロネシア大使ジョン・フリッツ氏の来呉』。建設中のミクロネシア船舶の関係で来呉されるということでしたが、ボランティア活動のお礼も兼ねて木村眼科内科病院にもご来訪されました。

短い時間ではありましたが、木村亘院長とミクロネシアの眼科医療について話をされました。この記事を読まれる方のほとんどが『信じられない!』と思われるかもしれません。ミクロネシアではいまだに国内に眼科医がないのが実情です。医療技術の遅れのため、満足な治療を受けることが出来ない患者さんの話を大使から伺うと私も何かお手伝いが出来ればと改めて思いました。



耳鼻科用の顕微鏡で立って手術をした年もありました(2006年)

今秋、木村眼科内科病院は新病院に全面移転し、さらなる発展を期待されています。医師数も増え診療に余裕が出来れば、今後ミクロネシア眼科医療のお手伝いが出来るようになるかもしれません。

木村眼科内科病院ホームページにまた、ミクロネシアの住民の方々との写真が載ることを夢見て、日々の診療を頑張ります。

# 4月から入院・手術の予約方法変更と異動 ～奥井看護師長が日程を調整致します～

近年、外来患者様の増加により診療待ち時間が増加し、患者様には大変ご迷惑をおかけしております。これまで診察室で入院・手術日を決めさせていただいておりましたことも、待ち時間が長くなる要因となっておりました。これらを改善し、診療を円滑にして待ち時間の短縮を図るべく、4月からは病棟勤務をしておりました奥井看護師長が外来に移って勤務し、入院・手術日

の調整を行うこととなりました。それに伴い岡田病棟主任が病棟師長となります。また、事務長 石田の定年に伴い、総務課長 小田が事務部長に就任し事務部門をまとめます。

新病院での開業に向け、新体制で患者様により信頼される病院を目指し、さらに質の高い医療を行ってまいりますのでよろしくお願ひ致します。

## 病棟師長に任命されて

病棟師長 岡田 佐由里

この度、4月からの新体制に伴い病棟師長に就任致しました。

私は昭和56年から当院へ勤務し、外来・手術室・内科・病棟を経験。子育てのため、いったん退職致しましたが、数年後再び復帰させていただき、平成15年からは病棟主任として勤務してまいりました。

この度の就任にあたり正直なところ不安も大きいのですが、前任の奥井師長が築いてくださった基盤を元に、スタッフの協力と支えがあれば新しい任務も達成してゆくことが出来ると



考えております。患者様に安全で快適に入院生活を送っていただけますよう今まで以上に努力し仕事に励んでまいりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

## INFORMATION

平成27年5月7日(木)より、内科診察が予約制(ただし救急を除く)に変更となります。予約は診察終了後、診察室でとらせて頂きます。ご協力をよろしくお願ひ致します。



医療法人社団ひかり会

木村眼科内科病院

〒737-0046 広島県呉市中通2丁目3-28

TEL : 0823-22-5544 [代表]

0823-21-1000 [病棟専用・夜間・休日]

FAX: 0823-25-9010

<http://www.kimura-eye.or.jp/>



医療法人社団ひかり会

焼山木村眼科

〒737-0935 広島県呉市焼山中央1丁目10-9

TEL : 0823-33-8259

FAX: 0823-33-8279

木村眼科

検索

できます。